

5. ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

農学部では、健全な倫理観、多様な価値観を受容できる寛容性、社会貢献意欲、そして農学や生命科学に関する幅広い知識など、基盤的な能力（農学ジェネラリティ）を備えたうえで、農業、食物生産、自然環境の保護、獣医療などの農学基本分野における高度な専門性（実践型スペシャリティ）を持ち、自然との共生社会の実現に貢献できる人材の養成を教育目的とする。

そこで、農学部では、宮崎大学学務規則に規定する修業年限以上在学し、各学科所定の単位数を修得し、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定し、学士の学位を与える。（農学科は学士（農学）、獣医学科は学士（獣医学））

学 部

本学に所定の期間在籍し、基準となる単位を修得するとともに、本学部の目的・理念及び教育目標に基づき、学生の学修成果が到達目標に達したと認められる者に、学士（農学科は学士（農学）、獣医学科は学士（獣医学））の学位を授与する。

1. 全学に共通な学修成果である「学士基盤力」を身につけている。
2. 学部共通及び各学科における「学士専門力」を身につけている。
3. 卒業研究として、獲得した知識や技能を統合し課題を解決することができ、その成果を論文としてまとめることができる。

農学科 動植物資源生命科学コース

- A) 農学俯瞰力：農学獣医学に関する幅広い知識や技術に基づく思考や判断ができる。
- B) データ運用力：数理・データサイエンス・AIに関する応用基礎レベルのデータ運用ができる。
- C) 動植物生産活用力：動植物の生産や農業に関する専門知識と技能を有し、持続可能な食料供給に活用できる。
- D) 動植物生態・環境活用力：動植物の生態や環境に関する専門知識と技能を有し、環境の保全と調和に活用できる。
- E) 動植物生命・食品活用力：動植物資源の生命現象や食品分野への応用に関する専門知識と技能を有し、健康で豊かな暮らしの実現に活用できる。

農学科 森林環境持続性科学コース

- A) 農学俯瞰力：農学獣医学に関する幅広い知識や技術に基づく思考や判断ができる。
- B) データ運用力：数理・データサイエンス・AIに関する応用基礎レベルのデータ運用ができる。
- C) 環境持続性基礎・応用力：森林・緑地および関連する生物・非生物材料、国土保全、水資源利用に関する広い知識を修得し、持続可能な社会の実現に応用することができる。
- D) 環境持続性解決力：里地・里山で生じている国内および国際的な諸問題に対して、具体的な課題を見つけ出し、その解決方法を提案できる。
- E) 環境持続性実践力：生産と保全を調和させた持続可能な地域社会を実現するために、様々な関係者とコミュニケーションをとり協働して対策を実践することができる。

農学科 海洋生命科学コース

- A) 農学俯瞰力：農学獣医学に関する幅広い知識や技術に基づく思考や判断ができる。
- B) データ運用力：数理・データサイエンス・AIに関する応用基礎レベルのデータ運用ができる。

- C)理解力：海洋生命科学に関する基礎知識：海洋生命に関わる様々な現象を理解する上で必要な生物と化学の基礎知識を理解し専門分野に応用できる。
- D)応用力：海洋生命科学に関する専門知識：生態環境学、増養殖学、応用生理病理学、生物資源化学の各領域に関する専門知識を理解し、それを問題解決に応用できる。
- E)実行力：専門分野で修得した知識・技術を活用し、地域社会や国際社会で海洋に関わる諸問題を他と協力し解決できる。

農学科 応用生命化学コース

- A)農学俯瞰力：農学獣医学に関する幅広い知識や技術に基づく思考や判断ができる。
- B)データ運用力：数理・データサイエンス・AIに関する応用基礎レベルのデータ運用ができる。
- C)基礎理解力：生命化学に関する基礎知識：生命現象を理解する上で必要な化学と生物の知識を深化させることができる。
- D)応用力：応用生命化学に関する知識：応用生物化学、食品化学、生物工学の各領域に関する基礎および専門知識を理解し、それを問題解決に応用できる。
- E)実践力：あらゆる状況下で計画的に仕事を進め、まとめる力：応用生命化学に関する課題解決のための筋道をデザインし、自立して仕事を計画的に進め、期限内に終わることができる。

獣医学科

- A)農学俯瞰力：農学獣医学に関する幅広い知識や技術に基づく思考や判断ができる。
- B)データ運用力：数理・データサイエンス・AIに関する応用基礎レベルのデータ運用ができる。
- C)理解力・判断力：動物福祉について基本的な精神と概念を身に付けるとともにグローバルな基準と動物福祉に関する諸問題を理解し、説明できる。
- D)応用力・行動力：動物組織の構造や機能、病態・疾患、感染症、公衆衛生、診断・治療・予防など、獣医師に必要な専門知識を身につけ、健全な倫理観をもって行動できる。
- E)課題設定力・洞察力・論理的思考力・共感力・表現力：
獣医師の社会的役割を理解し、それを実践するための基本的技能、洞察力、課題探求力、論理的思考力、協調性、計画性、コミュニケーション力を身につけ、行動できる。
- F)発信力・実践力：One Health の概念を理解し、地球規模の視点に立ってそれを普及・啓発するための知識、技能、行動力、情報発信力を身につけ、実践できる。
- G)探求力・創造力：国際的あるいは先端的な研究の意義を理解し、自らの強い探究心と行動力によって獣医学の発展や、新しい社会的価値の創出に貢献できる。